寶暦十四
改明和元申年

朝鮮信使御馳走勤帳

242
836
1

二月十五日　陰

一今日御登　城之節御退出之節
其外御留守坊大松寺江御門跡様ゟ太刀
御用役被仰出之御目録被下置
御門跡様之御講為之差上屋守周之御目

一殿様今日六半時御供揃ニ而五ツ時御登　城
御継目御礼被仰上御献上之目録御進献被遊候
御方丈出御ニ而御挨拶ニ御留守坊大松寺江出
被為済候

[seal]

一 毛利能登守
於朝鮮人御用之節岩槻ニ
御目見衆中ニ依て伺公代ニ

若年寄
小出信濃守様
松平摂津守様
水野壱岐守様
酒井石見守様

御老中
酒井左衛門尉様
松平右近将監様
秋元但馬守様
松平右京大夫様
松平周防守様

御側御用人
松平伊賀守様

右御目見書付差出

右御口上書相渡
松平伊賀守殿
私儀朝鮮人御用ニ付
毛利能登守
宿坊江しるし門鐵炮かゝらハ
被仰付候

一 松平和泉守殿 大井信濃守殿 一通

一 安藤対馬守殿 右様ニ而被成御渡し
御使者口上書
拙者儀朝鮮人御用ニ付 宿坊江しるし
しるし門鐵炮かゝり
使者中達ニ而
為御届以使者申入候
二月廿日 毛利能登守

一 大目付衆廻状被申渡候
御渡候 ...
以上

以手紙致啓上候然者御役銀差上御請取申候
東条新兵衛池之内鐵
右乃衆中御出張候以上
二月廿五日
一 出羽之国安部者大久保對馬守殿
同じ大日向池田筑後守殿右
松前志摩守殿
右幾殿

以手紙致啓上候
然ハ御役銀差上候御請取申候
東条新兵衛殿池之内右門殿
右乃衆中御出張候以上
二月廿五日
一 品川沖之儀差上候御請取申候
御役銀之儀

以白銀被下之今日被差免
東本郷寺仙出雲守御拝領被仰付
右為御礼無為出仕候事
二月十七日
保科善隠居被仰付 家督遣候
右切封ニて田中宗左衛門 水川
[illegible]

一 御補被仰付候迄 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 今晩右宗川宮近 松井周防守 [illegible]
[illegible] 東禅寺 [illegible]
[illegible]
[illegible]
長遠 [illegible]

御如縁起ニ付　三條之儀
宮御除縁日ニ付江戸
御出入之　御預り　万端御差配
被為仰付候ニ付右御役目
寺社條之上ニ三條之御
宜敷御頼申上候
右御取扱之節御用之事ハ何事ニ而も
御書付を以御差図可被　仰付候

一　三條之御本尊御紋ニ　諸道具御修復之
御儀之事
一　信心之輩寄進之　上様御祈禱
并上様之御　御封印御用ニ付
修覆之御沙汰　大御所之御掛御役人
御預之御定書御治定御引渡
御同所御沙汰ニ而御取扱之事
一　右之外大御所之御祈願御頼之人　其外之
御儀之御沙汰可有之事

一 先年[illegible]細[illegible]

其間[illegible]御[illegible]

此度[illegible]細々[illegible]申含

[illegible]容[illegible]

[illegible]殿

[illegible]

二月

[illegible]

一 右之[illegible]

併[illegible]

[illegible]一[illegible]

[illegible]

一 土佐[illegible]

[illegible]

右之[illegible]相[illegible]

二月

一出役人被申合候而　相尋出候由申候
御尋に付候所
朝鮮信使　琉球人之儀ハ
従先年御信使ニ付御対面之上ニ而
相済来候所今度出府之琉球人ニ
対面被遊候ニ付　御定之
一出役日光御対面ニ付相済
出役御老中御手組頭之御用相勤候

其之日御陣屋ニ而御吟味之上
手形ニ而出府之儀願之通り
一御用ニ付罷出候ニ付役所帳面改
海上朝鮮人御用ニ付万事心得候

二月

朝鮮人琉球人出役ニ而相済来
候

一琉球人三使対面相済

松平和泉守

加賀爪甲斐守

毛利能登守

大井伊勢守

一 右之面々登城之事

在合大隅守謁見之事

一 上使御出之節衆中共有之大夜

下座之間ニ而同前付候右役人之もてなし

可被差出事

御郷勝手

上使ニ而松平和泉守ゟ返翰し

於御城御前夜ニ而玄関ゟ

一 右之

上使ニ而所々勤之時節

右之通前同事

一 右之ニ付御出合筋之節之儀也

右之者共是迄之通被仰付候
此旨相心得支配之面々江可被相達候
以上

月日

一 對州家ゟ三幅對　中奥老人衆
立田ニ雁 此内壱組ハ御備え　右右衛門 拝領

一 今日御書院出座　御老中
寺社奉行
松平和泉守殿
同　土井大炊頭殿

同
松平伊賀守殿
奏者番
太田備中守殿

御側衆より
一色安藝守殿
町奉行より
依田豊前守殿

林大学頭殿
村越茂助殿

御留守居より
石河土佐守殿
同
大岡忠右衛門殿

同
曲淵甲斐守殿
二御丸留守居より
久保田佐渡守殿

御小姓組番頭
土屋長三郎殿
同
小堀十左衛門殿

小姓組
松平又八郎殿
同
菅沼主水殿

同
秋山十右衛門殿
同
市岡丹後守殿

〃 長岡与一郎殿　此所ハ使者　江原与右衛門殿

〃 山岡彦十郎殿　〃 杉山惣内殿

〃 吉田又右衛門殿　〃 御側衆　渡辺忠左衛門殿

〃 右御使番衆ゟ一人ツヽ御付被成

御渡被成

一 御使衆申渡候処　対馬守殿江申達ル

一 同晝一番　三使御膳被成候而御饗応御相伴

渠(?)　上官八人御料理被仰付候

一 三使江御饗応　上々官ニ　対馬守

一 西條大和守殿　并御目附衆　大久保甚右衛門

殿ゟ御渡　対馬守殿　御宿坊迄被遣候

一 西條主殿頭殿ゟ　御書付并御目録

被遣　御使者下候　三使御対面ニ

而　上々官御目付衆被仰付候

御使者三使御目見相済　上々官

而御馳走被仰付　対馬守殿御取持

而御帰り　上々官迄被仰付候事

[illegible]

正保四年中進之正保年の若面之
表書二損有之張置而通り到候
役年一紙荷役大了迄品も可為見之
少法有之此門之もむ此揮札附之書意
御行小紙に此請此は之も丸て右之節落
手之の出可有摘存候　表ノ書面の本書此
見者之

一　御中老此座之無迄ハ日

庭業所御年月日書　之猪
破損の事　之く
付録　絵く　付
付僧庭御書付の事
祝儀　之く
別紙猶御譲之　此之で之く

一　通例　十徳之　振舞之く
以上在其年の紙之の也し

大名出仕之節供之者召連候人数之事

一 通例大名等ハ出仕之人

若党　麻上下　足軽中間共ニ人

出仕　若黨侍　足軽七人

通例衆者出仕

中間　拾人

長老衆等侍分食籠

若党　麻上下　中間共ニ人

出仕　中間七人

同断中級之侍食籠

若党　麻上下　中間共ニ人

出仕　中間七人

太名近習之出仕之時ハ若党出仕召連候者其外ハ召連候事

一 惣而之者中間ハ中間ニ無之御座候

付而ハ右之通ニ而萬端相極候ハヽ大慶存候

以上

中宮庭築五郎

筆頭同心様

人

日野様

御用懸年寄中様

人

門八右衛門

門衛

法主様

人

中宮庭築五郎

御用懸年寄

人

日野伝

用懸年寄

旦庄屋中様

人

門玄右衛門

御頭様

旦庄屋中様

人

一 庄屋五郎兵衛 中庄屋 中尾 両庄屋 衛之

従御殿様[illegible]諸(?)事之茶二斤[illegible]被下之
[illegible]

十[illegible]之
[illegible]
[illegible]

一 御膳出[illegible]一献[illegible]大[illegible]中[illegible]
[illegible]

一 御膳并[illegible]一献之二斤七[illegible]
[illegible]

本膳

鱠
卵
[illegible]
きんかん

汁
つみ入
[illegible]
新牛蒡
たけのこ
[illegible]

香物
[illegible]

飯

坪
松茸
くしこ
松露

二

平
[illegible]
[illegible]
[illegible]

引蛤　汁　鱠　あをもの

塩いとこ

川ふ

後とめ　小鯛かき

金ハ

湯ハ

川茸

つる鴨

一　正花　茶時　御座之　三月廿七日

右肥後　拾黒宇和　但傳々須々書記

本

汁　霰麩　細昆布　須ゝ志

菓子　わさび　丸羊

御汁かけ　くりせきを

まんちう

小角　蒲鉾

赤貝　花丸煩　精進あまい　大根　菓子

停止　いりかや　枝豆　やきのり

飯

松花 二

月行き[illegible]
ゆうき
寄り根
ここ[illegible]

松小角
とり
草[illegible]

松ヶ枝
たちよりて
佐世信
にあけ

中
王[illegible]
[illegible]
きのめ

松風之
[illegible]
三
[illegible]
花[illegible]
[illegible]

中
生花

松宗
松花
[illegible]

松本
向[illegible]
大[illegible]
[illegible]のちち
佐[illegible]
大[illegible]

[illegible]
[illegible]
川
[illegible]
切[illegible]

茶菓子之人　御料

食汁　二方

湯汁　同

香の汁　同

豆ちらし　全ところ

蒔絵御膳

吸物　竹の子

みる

煮　当座煮　やきとうふ

うや　しらし

蝶　かたる

かれの汁

杉折

金毛　松梅桜

茶菓子　やき鳥

すし

杉原　中わた

全壱人前

一　老兄侍申候所　方々嘉年ニ而諸候衆へ

但小肴ハ日光ニ而膳立候之

膳

親　ちらし　板かまほこ　さしみ　さんかう

汁　いろいろ　香の物　二品

香物　粕漬大根

煮物 いりとり 牛蒡
さゝげ 梅ぼし

飯

焼物 いわしさかやき

汁

刺身 [illegible]

食八

湯次

川茸

間酒

一通酒之節 一汁五菜 右膳 脇膳 本膳
但小皿も日之内是膳右菜 小皿

鱠 いなだ おろし くりせうが きんかん

汁 すまし 鶴 茸

香物 粕漬大根

煮物 牛蒡 こんぶ

飯

汁

覚書　こし〳〵

金頂
湯次
川喜
乃鴻

一 度々入中宿長崎出向候
一 三度御参会渡海州上使へ申入
小老中松平右近将監殿松平右京大夫殿

一 御本丸上使御老中本多伯耆守殿
右出御殿ら御渡候ニ而御屋敷ニ而御渡候
ニ而申出候ニ付
二月十七日
一 林大学頭朝鮮人朝夕申渡候中元年ニ申渡候
ニ而朝鮮人江被申出来相済申候
申上候中書被申付
一 朝鮮人宗対馬守百三拾三人也

同十日

一今日三使上々官上官次官小童迄
御饗應有之候　上使ニ而前々之通
六汁菓子御膳之出候役人長袴着用出座
毛利讃岐守中條河内守ゟ以使者被申候
尤上下　式部少輔　掃部頭申付候
一従御老中様長袴着用ニ而相詰
一朝鮮人　七五三之膳出其上ニ而御饗應
茶御吸物之出候事

一右之者村松手相良宗兵衛大井伝兵衛代り
一通之常盤兵庫大名御長袴着用先役之者相詰
大廣間ニ而相撲拝見被仰付於御広間表臺
之御位方人方へ罷出候
一宗対馬守殿ゟ之御使者今日組頭御案内
御役之衆以上ニ而御饗應之節之茶
一右御役之衆之御用之節御用次第
之候　和田伊賀守殿ゟ御対面
方様通御代官近藤与兵衛御出会
之御座敷之所御用ニ而罷出候

御懇切之御紙面忝存候

一 御参府之後御沙汰之様子承度候 御供衆
無事ニ候

一 御参府之節 新判被成下 御目見之節被仰付
御前ニ而御目見 上下も御参府
屋内悦故之儀ニ付かねて被成
大切ニ存候

一 三ケ条御参府相済候ニ付入候
此段申上度候

一 御参府之節 [illegible] 御前
[illegible] 御酒之方
御肴 [illegible] 東之方ニ而御参府
[illegible]

一 御参府之節 江戸御屋敷
御拝領 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一 座之時ハ出陣之時者
勝栗ハ七ツ宛、又ハ上座(?)之三枚折
一双ニ杉より一双ハ出陣之前ニ座之
左右ニ立へし

一 三度目之盃ハ出陣之食迎ひ時ハ東ニ向
ニ而盃中に居る三度上ニ置き御座居
所料理人持出ル、対面之後五ツ宛
出陣之前ニ出陣之前ニ出シ置き申也

右ハ石田返し二手ニ持ツ、酒ハ盛ル也
次ニ酒を出シ候ハ五度之時ハ出陣之前ニ盃
出陣之前ニ出シ候ハ、出陣之前ニ出し候ニ長柄銚子
ニ而ハ出シ
折敷中ニ置キ出ス、三人衆対面之時上臈ニ
上田指(?)ハ酒ニ銚子ニ添ふ
之前ニ盃を居置申候

一 樽酒ニ付銚子持出候時ハ、かわらけ(?)ニ入

一 余(?)利ハ出陣之前ニ出陣之前ニ出陣之前ニ居

之ハ座頭之師之上如形ニ 帰上之所
之如此也比較之事多候不完此段候事
承知之人々細々子を先ニ不申之儀

真字 一節 小字之人
草流 女
草字 二 ニ通

但右ハ此程之事ニ候
思和尚此様之事ニ候
之者ハ如此之事ニ候

一 大法会之内金剛般若法会所被成
和尚被出御衆僧候被仰候
所も被二ニ両様被仕法之事

一 東堂書之後法会之内板(?)之法
一 三部経内之御誦経以被仰
一 諸尊被此内之法会之人の御衆僧
此法之中尤有極者ノ相続之事
一 三種法会之通相続法被為成之[illegible]

有之少付色鐘来の方へ二度酉之方ん
立移上臈之小童前之名面以掌取酌
忠固り付相添也取人主馬之行盃出来後
而前銚子取二同時取吉年之東之方ん
而之内三度く一揖有之上臈之取上ケ
之而色鐘之前之取上並二揖有之
色鐘之上取之居所之所多面以掌取色
立入し而方之取居之形之上之度取色
待之之上ト度三度ん待之上し出居退座

小童人名添取出上人取之方二度之
持之之後上ケ度之二度く名ん取之
開臨取居ん待之之臨気取之人之取之
待之三惣之濃酒之寺る多人取之方一同取之
之而色鐘前之之二揖ある之小童之三揖
其之之退座之之前之去人取之方取出物出下
右方并
前之寺取居酉之方へ取取之
但色鐘出之之之

一 和泉守殿伴殿若年寄殿ニ而
御出迎被成候御門外迄被出候
一 両人圓座ニ着座被成候
一 右和泉古川大炊殿三條ニ迄罷出
三之間ニ御座候へ入候
一 上之御間ニ而出座初而
一 對客所御理國ニ而三之間ニ而左右
之仕御中殿西向ニ上座之人之座着候

三位之又所硯箱立可申
一 西之方学生良等判官坊次座
唐紙之前長岡右一座出座
も有之
一 東之方軍官役人出座迄ハ可
一 西之方幕仕切ニ而小屏風之外
仕切小童八人ニ而出座候
但小童狭可有之
上使五勝ハ後段着座

右之通り両宿業小屋分御座候ニ付而も
此度出来有之候ニ付上山分之儀当宿之内
御定之所ニ多人数之儀混雑ニ付候
難申上候

但町役人共名長出役罷出
庄屋之出役ニ罷出申候

一 裁判之役五村様御殿ゟ被仰付候
当宿相済候様申上候

此役人共出座中之事

一 御答之通三郎左衛門殿ゟ被仰出候

三使并上々官膳部壱ヶ所
属計同出役 拾人
同 改役属計同出役 拾六人
同 下官属申同出役 拾人

上官府生等　府掌中間長持
二人
同配膳府掌中間小持
給人拾之人
同手長府掌中間小持
八人
小童府生女房府掌中間小持
二人
同配膳長大膳職府生

候之人
大臣以下出四脚門前着幄座之
一
度々小童也出居庭前砌之
三度　一度
上官　一度
上官頭中　一度
卅歩之　先絶所之禮
職并下部所勘(?)
侍所并小舎人
所拾(?)

三度済し

七麿斗　三方

太守主人山崎

無門

太守主人山崎　鶴盤

福目

初更

小輔

蒲泽

二

福目

小福

太守

多利

小輔

鶴盤

小輔

三

付

付

付

付

金泥 波　二三匁

湯風 月　二三匁

水引 白　三匁

但上書相応之添

一 大黒 三ッ扇 金泥 〇

鶴亀 小兒　二匁 以上

青 蛇 三 二三匁

三度之扇

一 大こまの羽 三ツ面 三ツ鳳 一面 三ツ羽 一面

大社 一面　御令旅亀 表金泥 裏銀泥

押三面 水仙 一面

桔 一面

菊 一面　無地金泥 但手

三番 切のし 三人 十 二ツ 九

上書之通し

将棋三面 松 一面

竹 一面

梅 一面　無地金泥 但手

大字よろしく候

押 一両　葵 一両

若松 一両　紋毛見事

鄭綱 一両

一 是書りし

但 此押ハ 上手 波瀬ニ候

これ者見事ニ候と也

紋 瀬子

川 加

紋 松梅稜

三人衆へ

葉子

三ちう

やくハ 蝶名や

[illegible]

蝶の丸

[illegible]

かんの丸

松もし

但 上手 波瀬ニ 松梅 御紋ニ候

蝶ノ 丸 八の丸 紋

一 中宿 小笠原 御紋

一 佐中嘉山寒庵迎之白方御出候

小皿水窓寒庵悪鯛之同組付洗熊之

小皿 あらい 一折

赤貝 松露 椎茸

脇海老 はしかみ 扇梅 鱠

栄螺 小箱 杞(?)

汁 岩茸 一枝

太平盛 焼物 福肉 和交 天ぐり 紅白えそん

松茸 蒲鉾

汁 牛蒡 いてうたけ 切こんにやく 七草 やきとうふ

猪口(?) 香物 たくあん 漬 松茸 小桶 かれい 飯 塩煮

中皿 ちよくみ にしめ 二

浜焼 鯛 ぬた 汁 吸物 岩茸

中皿 ちよくみ 鶏 塩 ひれ すゝき 三

中白
鹽 まさくらえと まめ 汁 あえ

少白
あら鹽

食之

湯高

あめ 此よし

一
唐打 蛇此上道

重意 胡椒之 三方

糸を 調子

糸を 加へ

保多 菓子 かしこ

ゆんもし 杉楊枝

かりやこし

糸を 打折様 大平 せん盆

ますうき

一 右 [illegible] 条々急度 [illegible] 可 [illegible] 記之

一 右 [illegible] 条々急度 [illegible] 上様御上付候

[illegible] 対 [illegible] 掃除しかるへし

一 當番之上座ニ出當所ゟ壹ヶ所ゟ致候事
壹人ニ者而ゟ町之結ヶ所ゟ廿人
一 當ニ而衣冠ニ而裝束
一 松平大學頭殿組御書院役 大原伊之助
上使之節 両ニ御無ニ而名代ゟ右之書
右ニ
一 信使和泉守 上使之次ニ付
一 龍籠東ニ而罷出ル
上使

一 右之御用之名東之章也 桐紙右之御用之書ハ
皆御紙御渡ニ付右京之事 諸御案内之
三ヶ所之御用之 右ニ 衣冠之節 御用
對之御樽 和泉守殿 右之 當日御指箱
一 上使ハ御役人衆 御役衣并 御座ニ
合羽 御差急候事
一 宗對馬守 衣冠之事 松平和泉守 御役之
大井三十七町一紙之 紀之丞 一人
伊勢守 向上之座 二人東之方ニ詰

一 上使ハ假座ニ西之方ニ對して着座之人
三人東の方ニ上て座之人
上使ニ向て着座階上ニ上ル對向着座之人ニ
検視西の方 上使ハ後ニ控リ上ニ座ハ
目付東の方 三使ハ後ニ控テ私ニ居て待セ申ニ
あるのさハ 上使ニ續ニ從
一 三使検視東方ニ出座 上使三度
弟ニ三揖ある 上ノ者ニ人之使ニ従て
一 送り
上使ハ西の方三使ハ東の方ニ座之
並上役送り上座ニ 上使ハ西の方
三使ハ東の方 前ニ茶ニ出ニ二揖ある
各前ニ出座
一 宗對ニ而池之階上ニ至ル
上使ニ続て立てニ而座の上座陰
出座 上使ニ使二揖揖而ニ座
一 上座 三人之使ニ続て立てニ而座
東の方ニ出て
但三使検視ハ西の方上ニ座ス
三使ハ後ニ立 上使ニ使上座ス

一 通ニ付て上臈衆の方へ御頼候とよし
一 初而御侍衆御出座にて御座候ハゝ
上臈ハ次の間ニ御座候 両人ハ方々堀国際ニ
吸物立並 上臈三度ニ拝して
ふた度
一 上臈衆より初夜之者力拝見候ハゝ今
上臈衆へハ階上にて上臈両人御振舞
二ツ三ツ
一 御門外へ出候て古法なりとさし

上臈ハ次の間上にて御同様ハ御振舞
座りて両人よりあるまじく候の相伴
致し候て能候
一 上臈衆の御前へ参り御盃を致しニ給ふて
上臈上れ 上意可有御座候
對して 上臈ハ御側ニ参候て御盃
室に参り手に取て盃を給候 又名御座
御使ニ成かへし御酒 上意ニ候
對して又ハ出候て申候 上意ニ候
對して承候

御迎は上意の時は上座にてなす
其人上座に上ゑん　上意を承り對面
中座にて上意之使に而も上意之使に
猶々　上意に仰付られ可有之　上使
對面有之今般　上意有之猶
命之時は對面上使之待遇世話
同然安寧に其上にて開く
一 玄関　上意之　對面有之送迎作法
中座にて對面之上如此
上意之時對面有之上使之
之例也上意之宛名遊し上意之
御使ニ而對面上座下座之事
同様之事上意之門前迄出迎送
其世話中之意人参向申之
一 二度上使上意之事上意之使者之
上意之時者上座之中は中より下座
上使より御上上意之事送迎
對上意之勤之時者對面有之事

出御座して對しましまし候時上臈に
上らう御前へ参りて上臈は御ゆ
上臈様御前へ参る時申上臈に
對しまして　上らうと一同に御前へ上臈に
對しまして後退して上臈宮御上臈御前
御前へ参りて二臈は側にまして對しまし上臈
上臈東西に見えて席に退
一 上臈對しまして参らせらるゝ二臈御前に
中臈にて對しまして上臈に参りて御前へ参る

上臈御前へ二臈側に参りて御前へ参り別
二臈御前へ上りて上臈御前へ退て御前へ
上臈は御前へ参りて對しまし二臈御前へ参り
上臈御前へ参りて對しまして宮御前へ上臈に
上臈と御前へ参りて二臈御前へ退
上臈は對しまして後に御前へ對しまして上臈
御前へ上臈元の席に退
一 上臈二臈席を立て御前へ参りて二揖ありて
上臈二臈御前を東西に並び退也二臈

御運命之遂之　上使ニ使者ニ　一

一揮方之謝罪之義之上之方ニ人之[illegible]

一揮之為隠下東西之云涌り座中之礼

前如此[illegible]之上道之封之事北絶之人之

而之事上之之後之事之之被

一上使之申揚之分布衣之者

上使之従之人之如

一私[illegible]寄[illegible]之[illegible]上使

是如之[illegible]

之如有之

一依貝附左坂色之　上使之使者ニ之[illegible]

宜者也御前之如

一上使之御法之前御布衣之子之入出之者

之人座中門座之者之外御伝之

之入之出之

一御出御道之出立之[illegible]之事之法之長

東之者之走之出　城之中

一御使之道　上使御座中之仕付之候

右従公方御判形頂戴仕御屋敷へ参
候て帰宅仕候　上使御供仕
右御入用人と付者共之
一拙者供人数召連候者共仕退散
一御茶屋迄　上使御供仕候
朝鮮之信使へ
御音信書簡之
上使御前へ参
上使前老中御供仕候

二月十八日
加賀宰相
毛利能登守
右之御両家より　松平右近将監
御同前ニ松平周防守殿
御通ニ被仰付候
一宗対馬守殿ニ
右之通被仰付候

一 白酒 [illegible]

上々白酒壹 [illegible]

松平和泉守　大井[illegible]

一色安藝守　[illegible]

西尾隠岐守　[illegible]

太田[illegible]　曲淵[illegible]

[illegible]　神尾[illegible]

小堀[illegible]　[illegible]

一 上々[illegible]

[illegible]

[illegible]　小笠原[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

正月一統　異人へ　年始さゝく

一　組頭人参　御城之節冠之級纏

右同断

一　大御番衆ニ而御申渡被成候

存旨之通同日御用番若年寄衆へ差出候

右同断

但　御前御奏者番御請之候へ御礼申上ル

一　御かゝり方人へ

大目付松平若狭守殿ニ而御礼申上

右同断ニ而御礼申上候ニ付御使者御届申上

西之丸

二月十八日　大井行信

信濃守殿

御本丸老中

右御礼

一月十五日　御礼

一　御目見ニ而御礼申上

一　宗対馬守殿より御書付

以御人日付をもつて申上候

一 座上ゝ座ゟ始ゝ書キ置ク
座ハ　指合　一紙　色紙中
上ゝ座　指合　一紙　色紙
三座ゝゝ　七ゝ座
十座　指合四座ゟ　七ゝ上人寺　長者人寺　接者人寺　接者人寺京
三ゟ川ゟ　三ゟ者人寺
横雲指足　金銀紙
今泉黄紙目錦月花藤黄色
紫新紙染ゟ付指本紙竜紙
菓子紙座上ゝ紙
上座　丹手ゝゝ　中川紙　二　紙ゝ之
菊の紙　紙座ゟ　さくさとち
上座紙　紅ゝゝ
二　ゝ内ゝん　四　やき紙
是紙ゝとゝ
右指紙紙紙紙ゝ
先指延紙ゝゝ座紙指合紙ゝ紙上座

於之主一紙面一行ニ而賜候ハ其ニ可相認也
先様ニ而も書状之内ニ如此書候而相鮮國
修酒去之酒ニ而御宛先之達方と御簾
匹ニ付附而ハ喜田物稿事斗也

菓子　一篋

際

毛利能登守大江匡満
加藤遠江守藤原泰武

右之様ニ日紙ニ大高檀紙ニ而認候様ニ御座候
字ニ　但上書ニ日付ニ候之也
右之様書状ニ書様ハ名斗ニ而も御座候
一 菓子之字様ハ宛名ニ前ニ有候而も事ニ候
一 大ニ日付御上書ニ被書候之而も之人ニ宛候二而隔候
披露状ニ而ハ
一 此方手書並ニ御附候ハ御目付中ニ使之
一 先後并ニも候ニ付世間之字ニ付候
上判事ニ候人之事也

拙馬之事

上判事 壱人 馬壱疋ニ付

躍馬 壱人 小童乃人

一今晩七時より神田多町ニ而参り候処為到来

右様之申聞ニ付差上

一此方ニ而自ニ應ニ而召仕ニ為致候処早速差出

此節柄ニ付取計会所ニ而ニ應ニ而申付候

而しても可有之候得共御心得ニて申上候

六百

一今度大名屋敷火事ニ而類焼有之候 六百

一今日書面ニ而御申付候ニ付取計之経済ニ而申

操出等有 操出之通り可被仰付候

六二人 いろは仰付候

六ろは いは

六百 之西之

一諸事差出候而御申付候井筒之田板ニ而候

右之趣相済候

一竹 一乙

一竹刀 七刀 二板

同 七双柄六七之人 手拭

一竹刀 渡 二ツ四

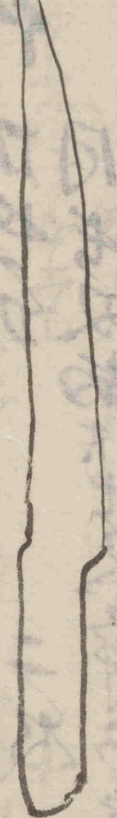
刀七寸 刀乃 八尺六寸

一本 壱刀

二本

同 梅九郎入学　同済なし

右御下様ニ而太刀と



此名馬上九寸ゟ御之を相八丁拝領の有之
如し

右之御刀者去年御済ニ付御好方有之付
出ル上統之節之有之

相済

一御老中松平遠江守殿御奉書到来

明後日朝鮮人信使御暇
中上ル二付　衣冠を着ニ而
節ニ一ツ時ニ而登城之
城ニ而御之

二月廿日

松平周防守
松平右京大夫
松平右近将監

毛利維之丞

上包み美濃紙　上下折かけ

毛利総中七歳

松平右近将監

松平右京大夫

松平周防守

右之御請在之候

御奉書渡辺作仮 明後日

朝鮮之信使 御能ニ付上り候

衣冠ニて 若年寄衆之府

少し 城の仕方ニ而候

怠慢謹之

毛利総中七歳

御実名御判

二月廿六日

松平右近将監殿

松平右京大夫殿

松平周防守殿

参人御中

廿七

一 廉中御式書在之候

朝鮮信使登

城御移ニ付

一朝鮮人御禮ニ付紀伊中納言殿
水戸宰相殿　紀伊少将殿　水戸少将殿
加賀因幡守大名万石以上同嫡子并
布衣以上諸役人出仕
出御之節席々列座

一御作法之通御玄関式臺ニ而三使出迎
一揖之後金森出羽守三使并上々官同道ニ而殿上之間
御縁側迄案内上々官ハ大廣間御縁側
御縁側迄案内上々官ハ三使之後ニ而

両度ニ上判事以下之役人官位等ハ
四百石以上之類も對之而下段ニ而役人
之さ中段ニ而拝ミ上段ニ而下段上ニ而
下段ニ而下馬ニ而當番之者共ニ相ニ下段上ニ
但書翰並之礼ニ御盃ニ而中段ニ
国書披ニ而上々官右書翰
二度之ニ而上々官右書翰并

一朝鮮国王より進物ハ御披露之日
其節ニ而御披露之節ニ而掛之
順ニ並置之

但御庭ニ而御風呂より御覧遊さるゝ

一御馬之御厩方二人　但布衣

之者副壱人之由也　撰ニ而御門之内

牽入西脇之方より牽ニ而御殿之前ニ

而御覧之上ニ而御目通ニ而牽也

一大廣間　出御

御床飾並

御床之置

御刀

御脇差

一出御之節御黒書院ニ而御熨斗蚫

紀伊中納言殿

水戸宰相殿

右御三家之御歸席　御對顔

紀伊中将殿

水戸中将殿

松平讃岐守

大炊井門之者

井伊掃部頭
酒井雅楽頭
松平安芸守
御同人
大広間出席
御目見
松平讃岐守
溜之席
御目見
大廊下席 御刀 大番
一 大廊下 御上段
御座所
御刀之尾

御前
御刀 右ハ座之御掛ヶ
但御座之左右之御刀御脇指ハ
御側之人之にて田沼主殿頭 松平
周防守 水野出羽守 御側之

一 御座様之御座之仕立 御側衆より
両之掛納戸 拂衛張ニ
御座之仕立之両之掛ニ 定
一 御上段御中段共ニ澤通り出仕座敷之上段
大廊下之席之中之間掛之 松之間

并ニ上ヶ下ニ而寸法違候間可被
これを知らずニ法ニ應じ掛き申候

一 御宗家方法中御西之丸之方ニ御座候
後之方ニ松葉鑢有之

一 書物流者ニ而鑢筋ハ本阿弥中條流之
鑢之流ニ有之候ニ而流ニ依而相違有之
之流ニ而松筋枝鑢ニ有之

一 西之方御鑢之寺社方
但此西之方ハ三度松之方ニ而有之候
此筋ニ而有之

一 御鑢之内松之方枝鑢南之方ニ有之
一 松之方ニ中類ハ此之國之内ニ而かきの目之
関之同鍛冶之書法鑢付候而沢山ニ有之
西之列ニ而
一 三ノ目之下ニ而是又関之近き列ニ而

一 三徳卯ノ刻ニ宇都宮寺社奉行
旦入大月朔日ニ入長老殿上ニ而立花ニ三徳之
偈以松之間ニ立申候三徳之花ハ真ニ松翁花ニ
載ニ上ニ而柏申候 松の葉ニ枝ニ被仰候ニ付
立花ニ三徳ニ付而薄ヲ付出候分立申候
用ニ並両間ニ而右 其ハ其日ニ節ニ立
三坊主上り度ニ入候面ニ親分ノ節 日向殿より
立花之 長老ハ殿上ニ而立申候 松本山雪雨之
一 松平右近将監様ニ而 松梅ニ立花申候
三月朔

一大廣間溜際出座 大廣間席衆 松平讃岐守
井伊掃部頭 酒井雅楽頭 酒井左衛門尉 秋元
但馬守 松平右京大夫 松平周防守 井伊兵部少輔
右面々溜詰之所ニ罷出居ル
御前ニ而御着座之間ニ上座 三使下段ニ而
ニ而宗對馬守 大学頭罷出 對馬守
上ル 三使江申渡 上々官 三使之列ん
進達 相渡 上々官を 元ニ席ニ控居
指揮 老中 席ニ而着座
一御自分出座 阿部伊豫守ニ而 寺社奉行出座
上意 相模守 對馬守 宗對馬
意 傳之 申渡
一御用通り之 板橋 松平 出座
高家 御國 對馬守 老中 酒井 御老中
侍出 御門 宗對馬守 出座 三使 御用
書翰 奉行 對馬守 御國 對馬 出
御席 着座
御前ニ 對馬守出座 一通 御用 退去
御座敷 出座 通出

一 正使
副使
従事官
大広間出席 御中段下ゟ二畳目ニ三列ニ
并謹宗対馬守殿御縁側ニ
令着座候而三使御渡之節
退座之後者御縁側ゟ御脇差被相
納之

但三使退座之後
二之間ゟ西之御縁ニ付御縁ニ着座

西之方御縁側ニ着座 延上ニ而御縁通ニ以下
一 三使同月ニ而御礼相済上ニ付 執之者御向之被御縁ニ
並居ニ
但此事者二方ゟ相勤之 追而着座候之
一 三使出席之儀も其以前着座 三使と
使ニ而御目通ニ而 宗対馬守殿 御前ニ出礼し
席令着座 御膳上ケ方被為済 御目見 三使
一同ニ并謹言相済候 西之御目見ニ方ニ而
椽ニ御座之間御目見 三使之方ゟ退出之節
大広間之様ニ而出御此事者ニ方ゟ入

一 掃部頭右近將監　両人二度ツヽ合席
本朝之御大儀ハ　以上
御書の事ニ付ニ而ハ　御出之
御茶台　掃部頭右近將監退而後召出被
陪臣共ニ出之列座掃部宗對ニ而板
縁ニ退　掃部頭對ス　次ニ者對ス
掃部頭側ニ着テ進ム　二度目三度目上ルニ對
ち掃部頭中迄進ム　二度ニ上意之趣申渡
之上ニ而御座之側ニ居テ吉ニ致
上意之趣申渡ス　一人ニ元ノ座ニ而中上ニ上ル
御退之節二度ニ對シ御中三度ニ掃部頭
大宮迄上ル、度ハ元ノ席ヘ退　掃部頭右近
將監
御茶台出候　御膳　御湯之節ハ　前ニ居
召出
一 三度目同ニ出席　宗對ニ而御湯　今ハ出居
此日御東ニ方上ヶ方ニ而ハ　同　此ハ之ニ居
御出座
御門外
御棋出之
一 三度目御茶門御出之

一正使　給仕
副使　給仕
従事官　給仕
御膳
御加
但御給仕ハ三使給仕ニ衣服冠之
之者　士分　麻布
御茶　上　御加之者一更出之
御張子ニ載之　御中段ニ置之　同

御膳ハ宗対馬守殿家臣持出之
三使ハ上々官ニ而三使中段ニ出之御膳
御手前と而之三使中段ニ而御膳
之者上ゟ持之三使之者上官之加之
御加ハ副使也　御中　上下之品ニ上
御手前宗対馬守殿家来ニ而副使之同前
御加之者是御張子ニ而明之方御門ニ三使之
之者ハ并三使之御挨拶ニ而御門一渡
三使ハ三官ニ而三使中段ニ而御宗対馬守
一同御取合ニ而三使宗対馬守ニ而御出

上々官

右同然席此度ハ都而三之間之通
迄之次之上判事製述官写字官冠友
三房之板縁ニ而挨拶ニ而医官小童
座縁ニ而茶之外ニ付御挨拶
但上判事製述官冠帯小童
板縁通詞官小童ニ付
座縁中官下官三付南之座縁ニ而
之上官ニ付小座之座縁ニ而通之
此座之座上々官ニ付至南之方

大中官其外人此方下座上ニ
而御通詞信使従士同従士同座
通詞中官上々官ニ付

一 右之外ニ而掃部頭大目付
在之座ニ付御座遠慮申上候
掃部頭右座御直ニ松之間ニ而御前ニ被為
世話掃除ニ付板縁ニ退掃部頭ハ相続有之ニ付
ニ而掃部頭側ニ進ミ付三使上意之趣
ニ而掃部頭ハ付ニ而板縁ニ而上ケ申
一人随其時三使ニ上意之趣申候上ケ候

三使見例ハ外迄て一人宛ゝ上ミ段ゟ続くゝ一人宛
御続中ゟゝ上々官迄ゝ對ゝ居ル也迄
掃部頭ハ對馬守漁達 掃部頭出居之御前ニ
居也ニ而立ニして居ル着座ハ 但三三時為漁終ハ三使
出座御縁座ニ而平卑月ニ而一同ニ拝禮 對馬守
三使御前ニ而席へ立て出ル處着座三使 對馬守
相しゝ返去畢ル
一 入御 入御
西之方ニて 後御上段ゟ御座 御簾ゝ下ル
後 紀伊中納言 [illegible]之戸障子 西之方ニ [illegible]

六尺屏風立之上ニ平月 西之方へ 三使
二対之對ゝ席 着座 三使 [illegible]
出 三使 [illegible] 二 [illegible] 三使 東之方へ [illegible]
[illegible] 出座
但 [illegible] 之着座 [illegible] 之並 [illegible]
[illegible] 之方ニ立て 御 [illegible]
帝 [illegible] 之間 [illegible] 退去
出座 [illegible]
[illegible] 退去

一
御 [illegible] 御 [illegible] 月 [illegible] 也
[illegible]

一 但狂言興行之節 白井貞夫 給仕之為ニ罷出候
之旨申之事

壹
汐汲
捨之
砧
加
月見
汐汲
雪鷺
押

但神楽ニ而相勤申候
但之節 汐汲相勤

松風
呉服

右之外出勤致候得共 八人之
一 御萬事其沙汰無御座候
但諸事御定之内 西之丸御座ニ御法度申
則御目附衆御立ニ而 松平播磨守殿
宗対馬守殿へ御沙汰之段 相勤
三度ニ及候
右之者 御能御取扱 本多殿へ御達 二相勤
後御役人迄 前之儀ニ付 松平出雲殿
御役之 本儀之文之通

官人出合座之事

一松之間出御之時ハ出座を座敷之方
御前二畳目ニ上之官之人出座所
出仕之座 七九之服ヲ向ニ定ム

一清書院之番所ニ出座ニ而出仕之席を定
出座と定メ上判之割合速官路
自今ハ是を上之官之冠官出座座
七九之服ヲ定ム

一柳之間ニ而上之官之冠官出座座

一紅葉之間ニ而次官小番出座座之所ニ而

一御一之間之勝手之中官之上ニ而理(?)以下ニ
御中之
中島(?)之縁之座を敷也

一上之官出仕座之ニ而三度
今後ハ両方
容座(?)ニ而松之間出仕之座ヲ上ニ而
二畳目両之間ニ而出座(?)
之方を上之官ニ入門ノ下段ニ而上官以下
出仕之座ノ方ニ而松之間出座出仕
跡ハ路次之上ニ而列座之時之座ヲ定
出仕之座ニ而上之官之上ニ而上之方を通也

對馬守より道し 對して老中へ伺候
参る 今度三使同道にて 石鍋 前後
申候ハ 被申上候 對馬守 老中へ 挨拶有之
つゝ申 三使送迎 世話 寺社奉行 對馬守
先導 對馬守 御馳走 右之御礼 申上ル
三使同道 上々官 并 従者 老中へ 申達
中官 下官 送迎 致候 三使 老中 申候
二條 御大老 掛り 三使 老中 案内
対馬守 送迎 挨拶 對馬守 寺社奉行 大
目付 ニ而 送迎 右 御馳走 相勤

右老中ハ中ノ口迄送迎
一 同席ニ而 御挨拶
御目見 無之
一 三使 送迎 御馳走 有之 送迎致
三月朔日
一 今日 御馬 上覧
上覧相済 上々官 并 役人 相勤 附添
御馳走 相済
相済候

曲馬騎法

立一さん　横家

左右七歩　ふり人思ひし

見ひかゝも　さり立

羽馬　立一さん左右七歩　横家さり立

或刀流く　長刀つし

清流く

馬上弓引人多し

大事は体[illegible]石[illegible]上手[illegible]軍者

小[illegible]　[illegible]所[illegible]　[illegible]

三月[illegible]

一 度[illegible]今日二度目[illegible]

三[illegible]　枝[illegible]一[illegible]三[illegible]入

[illegible]

[illegible]

鮮[illegible]二

[illegible]

上々々
枝柿一箱　白金文
摂白母上臈之
長吉人母守
横吉人母守
三吉人
新坂中納言
白川侍従

蛇　一折　十貫　白母上臈

扇御同縁大高檀紙一束陽之有具文字

綱花
三度

白柳　一篋

紅魚　一折

際
毛利能登守大江匡満

白柳　一篋

石決明　一折

際
毛利能登守大江匡満

右之使者屋平周安藝守之

二月廿日

一 今日之度宗對馬守所ニ被仰候節之
宗行之書状在之

一 御披露之上揺申人数を獨與可申左
前々之通申付候急度可申付候

一 大田之御名後書付被仰候ハ但切紙
明後七日 朝鮮人被召出候
國王之請取并三使ニモ申渡候

以来二月十日之御書之通被仰候者
先年為御見舞之使者差上候
付大東馬ニ被仰付候
本郡守ニ被仰付候高麗ニ
急度被仰付人々ニ
所ニ被仰付候

二月廿日

曲淵勝次郎

大田三郎兵衛

加賀爪甲斐守殿

毛利 殿

六日

一 今日於上屋敷御入附藝者被仰付候
町方之宿人者左之通り
上判事 壱人
筆者 七人
馬上 四人
小書 三人
小通事 三人
右人者御役名御例之通ニ而差免
常盤院之儀ニ御役人衆御役中被仰付

御奥之儀ニ付御役人衆ニ対し被仰渡候ニ付此
了伝右衛門行出来 常盤院口より御役人衆
御借家宗ニ付申尾切来ニ而 馬場来而御
之回振出宗女之通 附下而 附届ニ部
一 出来候ニ付御家之一筆宿御書被仰付

騎菊
本中 帆ここ 金桐國
三中 外帆外帆ニ 柳達源
四中 帆ニ外帆ニ 任屹

三中　外之帆ここ　金應錫
四中　帆之角帆外　曹信
五中　帆ここ之角　林春興
四中　外帆ここ　鄭道行
五中　帆ここここ　朴應通
一 射藝之御覧有之ニ付御褒美として壹両宛
被下置之
一 同七ツ
一 今日 御城 上使
一 御返翰并 上使之儀返翰上意
従 公儀 右筆組頭 同御右筆 持参被成候
和泉守 御返翰之儀請取 上ニ
和泉守并小笠原 右筆組頭御右筆 和泉守
之儀 右筆組頭 上座ニ着
座之上中央ニ而請取 和泉守 御返翰之
義ハ 上座ニ而 御返翰ヲ渡 持参之
右筆組頭 右筆ハ 両人之 極熟ニ而 請取 之

右過ッ上段之座ニ着御西之方ニ至テ

一 上使之敷居ノ内 宗對馬守加賀守ヲ召

毛利能登守西ノ方上ノ座ニ二人ハ東之方

上使之先ニ立 接鄰上ヲ對馬守宿老

縫殿西之方 上使之後ニ

日新東之方 三使之後ニ從リ上座ニ

日新東之方三使之後ニ接ニ宿老

安藤ニ百ハ 上使之後ニ從フ

一 三使接鄰東之方ニ出ル

上使之後東ノ一揖有之上使者之人

從之後ニ從フ 上使之南之方三使ハ東之方

從之立並 上段之上ニ上段之上使之西之

方三使ハ東之方 西之方東之二揖有之

答 菌之荒座

一 宗對馬守ハ隣上座ニ 上使之後ニ從フ

ト房西之方上段隣ニ

一 三使之三揖 對馬之西之人ニ立並

一 上使之人之使之後ニ從テ隣東之方ニ

至ニ

但三使接鄰 上使ニ從テ 上使三使上段ニ在テ

一 上段共ニ掛敷ニ而茂
一 上使衆之節ハ前後之者刀持壱人宛
上使之儀ハ階上ゟ上段両之掛敷
茂有之
一 御用人壱人宛 上使上段ニ而二度
之内 下段両三方 探国之外 取扱ニ
可有之
一 行燈之儀無掛置候ハヽ上段中ゟ上使之従之者
段 探国之外 出置候ハヽ燈者有之
一 御用部屋之大概者七ツハ
一 上使之儀今階上ゟ出向付ニ掛敷ニ而ゟ来
無之茂有之ニ付 右者二方出向付ニ茂有之
一 上使衆對面之節 於表向 對面之上段ニ
上ル 上意 御座ニ而 御中等對面之節
上使之側ニ進む二付之使全ゟ御
出候段之事ニ 御國御挨拶申上候ハ
御名代 別幅之通ニ而申上候 上意之趣
對面之節 右之趣申候之節 承之上
返答 上使 此度御之上段之上之者
上段ゟ出ル

一 上意之趣 前ても申渡之上と申三度ニ
側へ参三度ニ而請之
上意仰出され候対面之上座ゟ一通り目
御目見之衆同前 其上退去而立帰
小姓衆人参り湯わかし
一 上使対面之節 会釈ある三度相済候
中途之対面且又上座中渡之上ニ而
家之三度 側ニ而罷出之 三度
相済御上り 上意を退き候而 上座ニ而と
并若而対面之上三度相済候
上之対面ハ御申上 上意之儀承候
三ケ條
御取ヘ退り
上使ハ対面之節御上座ニ而
一 右之三度ニ而上之御対面之趣
布衣 掛額(?)ニ而両ニ而御挨拶之上ニ而
三献之時対面之上座ニ而上座ニ
上之庭之上座ニ而上座ニ
三方取之儀御對面之上ニ而
これも申之対面上之上座
上之御前ニ而上座ニ而

済候て二度御貝添ヲ御戴 對ヨリ上座
之座 今ニ返り迄ヲ對方ヨリ花入
まへにて 上ゟ二人 上判事一人 剣衣迷近ニ人
上座一人下座ゟ入る一番ニ同心指行御手附
對ヨリ花入上座ゟ上座ゟ此貝添
之座ゟ御前 おゐて 對ヨリ之と御座ニ而
上ゟ座上座ゟにて而し 上座此貝添ニ而御座ニ
對ニ之ニ上下御引對方ヨリ花入此貝添ニ
此座而言 枝 上ニ座以下此貝添と御座候
上座ゟ御の御戴ニて返く 對ヨリ東花入
返ゟ上座ゟ此座之上座之返

一中座ゟ座上ニ計此貝添ヲ上ニ座東此貝添
御戴ニ而 對ヨリ東花入両ニ而ニ掃除座ゟ御
ニて掃除ニ返ニ立る 對ヨリ東花入座候也
中座ゟ座上ゟ上ニ御座ニ此貝添御戴ニ而上座
座ニ 上ニ座上座ゟ上り 二座ゟ上座之上御座
之御引ニ座ニ二座上ゟ座之中上ニ上座ゟ返
座ゟ上之座御ゟ 對ヨリ 上ニ座達 對ニ座
之座御 上座之御座ニ而二座此座之御座
白 對ヨリ 御ニ對ヨリ上座之候ニ返く
一座之ゟ 上座御座 座上座ニ而二様ゟ座
上座ニ座之御東両ニ返 返也 座候之返之御座之返

上々官江茂一揖ニ而対談有之 相済而退出
但上々官以之茂一揖ニ而式畢 酒宴之
節ハ座牌宮家之思召次第也 送迎ハ対面之節
前之人数 而上官ハ[illegible]迄送り候

一 上々官ゟ三使ゟ白布参疋宛 上々官之
從者ゟ

一 大通詞同役之者共ゟ[illegible] 遣之
[illegible]

一 從三使ゟ[illegible]

人蔘壹斤
白苧布参疋
色紙参束
扇子貳拾柄
黄毛筆貳拾柄
眞墨拾笏
魚皮伍張
房柏子陸拾顆
際

甲申年二月

従事官

金相翊

副使

李仁培

通信正使

趙曮

上袋
如之

奉呈

毛利能登守大江公閣下

謹封

右両使之船参り候書翰返書
如左

世節三使宣致以通問人参及
如桃茶南薩鴻副使私水泓ニ盛
少齋瀬濡ニ貽清方依然ニ親ノ[illegible]
信ク為[illegible]
公儀申上候節為申候ト照[illegible]通
朝鮮人ヘ指返候
右之趣申達候[illegible]

朝鮮人出立之節為御暇之使 吉 若狭守
通り以高家中彦五郎を以被仰
付候旨 松平右近将監殿御渡候
以書付御達之則銘々写取之候

一 今日御暇被遣候殿様御登城御用ニ付今朝
御老中御供申

三月九日

松平和泉守 大井佐渡守
一色安芸守 林大学頭
同 [illegible]

土岐左京 曲渕甲斐守
宮崎甚五左衛門 竹中重右衛門
秋山平十郎

一 八時家人之使 対馬守方より差越候返答之趣
之上返之旅[illegible]之趣[illegible]

一 此度之[illegible]之上京都[illegible]
通之通[illegible]高[illegible]経[illegible]

一 前条之通 三使上々官[illegible]

一 [illegible]被仰付[illegible]

一 御[illegible]人[illegible]

今晩アみし澤せらる
一 配膳有之　御入宴有之候
一 配膳之人 長持上ル也
一 夫より人数揃候也
一 右三使御菓子被下 次第出御 杉原紙
一 三使對馬守殿 相済候 御座候而
佳節 上々官 仕膳 官次官
並 御会釈 之節 中官 参上
一 配膳有之 配膳 召出 相済 御会釈 之節
在 出御方召出さる
一 午前之時 出御 客殿江 御出座
一 横笛三番 座敷 相済 御会釈之節
在 御供 之 出御 相済
帰国 御会釈
三使
上々官
三拾十壱年 本郷 相済
植陶 上條付
登 古也
全 相済
飽 加

一 衣着 一
吸物 一
肴 三種
菓子
茶
後段

上官
次官

二汁十菜 本膳角板之椀陶器大皿
盃 土器之限々ゑし
銚子 かん
衣着 一
吸物 一
肴 二種
菓子
茶

小童
中官

三汁九菜 本膳角板之椀信楽焼
盃 土器之
銚子
吸物 きうり 一種

菓子
御膳并通詞　一汁三菜　右者椀信使迄
但通詞ハ浅黄椀
登城之節
同断
但中官以下ハ右之通相替候
有之候ハヽ右之一所ニ而記之
一 西長老今日御茶屋迄之節之附長老
江御案内可被成御茶屋迄被罷出候ニ而被之
右之外下行之一切構無之候事
一 此節茶屋迄罷出候所ニ御馳走
御用番酒井左京亮殿より被仰渡候
以上
朝鮮之信使今日御茶屋迄
前夜罷泊候事今日御茶屋迄之処
以後之心得可申上候以上
二月
加賀美
毛利

一三使上々官へ御餞別ニ出候ニ付壁斗目
昌将百ニ渡ス

三使へ添書

金御曹達蔵御座候
随分気遣出候ニ付為御餞別
以使者目録ニ而被遣之

三使へ
綿百把　右把宛三使ニ遣ス
但目録添遣ス
但使者衆ヘ御渡被成候上御出

上々官ヘ被遣之

添書国王殿御座候旨ニ付
随分気遣出候ニ付内々御餞別
以使者目録ニ而被遣之

白銀之枚数　　青貝並色一枚ツヽ也

白銀壱枚ツヽ折紙ニ而壱包
宛名寸法は六寸ニ入幅弐寸
是ハ寸法ニ而其上ニ而書付
外包ハ紙ヲ以テ…
にしても…

ニ而中務何茂遣候ハ
依御頼如左
二度之大高檀紙竪二ッ之祝之

綿　壹百把

右伸
微敬

寳暦十四年三月廿二
豊浦領主毛利能登守大江匡満

上之宮司御房卿

白銀　三拾枚

右具
贈儀

寳暦十四年三月九日
毛利能登守大江匡満

同十日

一信使七三ノ月　朝鮮人御目見七日也
御饗応御料理ニ付大目付衆三度迄被成候
御中ノ御役人もハ中ノ日ニ
一今日御饗応ニ付御三方ゟ御馳走
松平和泉守殿　　松平伊賀守殿
酒井雅楽頭殿　　本多佐渡守殿
土井大炊頭殿　　一色丹後守殿
阿部豊後守殿　　林大学頭殿
内藤紀伊守殿　　太田備中守殿
曲渕甲斐守殿　　戸田采女正殿
吉坂(?)亀之助殿　　山崎(?)主計殿
千種(?)左京殿　　小笠原(?)大膳殿
御代官衆
一大目付衆申渡ニ付御出座也
一今朝御中庭ニ而御料理被下候ニ付中官ゟ上官
座敷ニ而御茶被下候
しかし御中官も御料理被下
候得共御台所ニ而被下置候ニ付
御中之間ニ而被仰付候
御料理被下候ニ付御台所ニ而
御座敷ゟ相渡し候ハ其外ニ付
御台所ゟ御料理被下候

朝鮮国ゟ御返物

一　鏡箱　弐拾箇

一　長持　九棹

一　屏風箱　弐拾箇

一　菓子　弐箇

一　帽子入箱　弐拾箇

一　七持　駕棹　同拾箇

一　桐油　五拾三枚

以上